

快適職場に認定

野田組と宮坂・大北JVに

帯広労基署

【帯広】帯広労基署は7日、野田組（本社・本別町、野田仁社長）が施工する十勝川改修中首更築堤河岸保護と、宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）・大北土建工業（本社・富良野、荒木毅社長）共同体が施工する国道242号池田町千代田大橋床版の2現場

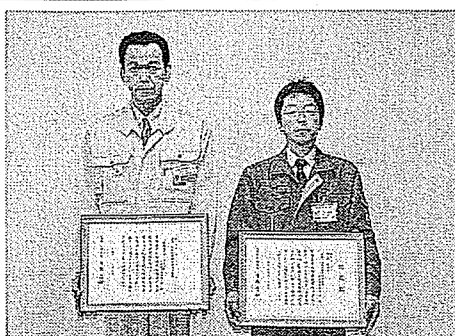
に快適職場推進計画認定証を伝達した。

野田組は、現場休憩所の2階にウッドテラスを備えたりフレッシュルームを設け、作業員が心身の疲労回復を図ることが出来る職場づくりなどが評価された。宮坂・大北共同体系、現場事務所にインターネット

に接続したパソコンを設置。常に気象状況や災害情報を確認できる職場環境を整えたほか、低価格に設定した自動販売機を設けるな

ど、安全で快適な現場環境を目指した。

伝達式の後で、野田組の三木哲現場所長は「作業員の皆さんに、疲労を翌日に残さない職場環境の形成を心掛けている」と述べたほか、宮坂建設工業の高橋徹現場所長は「意欲的に仕事ができる現場を目指している」と、それぞれ快適な職場環境形成に向けて重視している点を話した。



山谷幸雄署長は「三大災害に注意を払い、死亡災害ゼロで工事を進めてほしい」と改めて無事故無災害を要請した。

左から宮坂・大北JVの高橋所長と野田組の三木所長